

「課題解決型高度医療人材養成プログラム」における工程表

申請担当大学名	東京大学
連携大学名	
事業名	経営のできる大学病院幹部養成プログラム

① 本事業終了後の達成目標

本事業終了後の達成目標	
達成目標	本事業は、経営のできる大学病院幹部を養成することを目的とする教育プログラムであり、複数の教育コースを設置し多様な履修者の受け入れを行うことにより、修了者が経営において必要な情報を活用して短期的及び長期的な経営戦略の立案ができる能力を身に付けることを目標としている。 また、中長期的には、修了者が本教育プログラムで学んだ知見を所属機関等に持ち帰り、実践することが、各大学病院の経営改善に寄与するとともに、地域の医療体制の中で期待される高難度急性期医療を担う医療機関としての役割を適切に果たすことにつながることを目標としている。

② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム

		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
インプット・プロセス (投入、入力、活動、行動)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H19-21本学「医療経営人材育成講座」の医療経営教育コンテンツの解析</li> <li>・キックオフシンポジウムでのアンケート調査</li> <li>・キックオフシンポジウムの開催:1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任教員1名の採用</li> <li>・大学改革支援・学位授与機構が有する教育及びコンテンツ作成方策の解析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期履修コースの立ち上げ及び新規受け入れ10名(うち医師5名、看護師5名ほか)</li> <li>・新規受け入れ者からの受講前アンケート調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期履修コース新規受け入れ10名(うち医師5名、看護師5名ほか)</li> <li>・標準コースの立ち上げ及び新規受け入れ20名(うち医師15名、看護師5名ほか)</li> <li>・新規標準コース受け入れ者からの受講前アンケート調査</li> <li>・e-learning受講者の新規受け入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期履修コース新規受け入れ10名(うち医師5名、看護師5名ほか)</li> <li>・標準コース新規受け入れ20名(うち医師15名、看護師5名ほか)</li> <li>・長期履修コースの立ち上げ及び新規受け入れ10名(うち医師5名、看護師5名ほか)</li> <li>・新規長期コース受け入れ者からの受講前アンケート調査</li> <li>・e-learning受講者の新規受け入れ</li> </ul>
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携協議会の立ち上げ</li> <li>・年度評価の実施</li> <li>・コア・カリキュラムの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期履修コースのカリキュラムの検討</li> <li>・連携協議会の開催</li> <li>・年度評価の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準コースのカリキュラムの検討</li> <li>・連携協議会の開催</li> <li>・年度評価の実施</li> <li>・教育アウトカム項目の評価方法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期履修コースのカリキュラムの検討</li> <li>・連携協議会の開催</li> <li>・年度評価及び中間評価の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携協議会の開催</li> <li>・年度評価の実施及び最終評価の実施</li> </ul>
アウトプット (結果、出力)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キックオフシンポジウム職種別参加者数</li> <li>・コア・カリキュラムの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期履修コースのカリキュラムの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期履修コース修了者数10名(うち医師5名、看護師5名ほか)</li> <li>・標準コースのカリキュラムの構築</li> <li>・e-learningコンテンツの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期履修コース修了者数10名(うち医師5名、看護師5名ほか)</li> <li>・標準コース修了者数20名(うち医師15名、看護師5名ほか)</li> <li>・e-learning教材のweb公開</li> <li>・長期履修コースのカリキュラムの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期履修コース修了者数10名(うち医師5名、看護師5名ほか)</li> <li>・標準コース修了者数20名(うち医師15名、看護師5名ほか)</li> </ul>
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恒常的な連携体制の構築</li> <li>・各年度の取組実績のとりまとめ</li> <li>・アンケートの回収によるニーズの把握</li> <li>・「医療経営人材育成講座」の医療経営教育コンテンツの把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恒常的な連携体制の構築</li> <li>・各年度の取組実績のとりまとめ</li> <li>・大学改革支援・学位授与機構の取組の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恒常的な連携体制の構築</li> <li>・各年度の取組実績のとりまとめ</li> <li>・アンケートの回収によるニーズの把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恒常的な連携体制の構築</li> <li>・各年度の取組実績のとりまとめ及び3か年の実績のとりまとめ</li> <li>・アンケートの回収によるニーズの把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恒常的な連携体制の構築</li> <li>・各年度の取組実績のとりまとめ及び最終評価のとりまとめ</li> <li>・アンケートの回収によるニーズの把握</li> </ul>

アウトカム (成果、 効果)	定量的 なもの		・教育アウトカム項目の設定	・教育アウトカム項目の評価方法の 設定	・受講者の教育アウトカム評価の向 上	・受講者の教育アウトカム評価の向 上
	定性的 なもの	・「医療経営人材育成講座」での教育 及びアンケート結果を参考にした教 育内容の検討	・e-learning開発を念頭にした教育コ ンテンツの方針決定 ・大学改革支援・学位授与機構の取 組を参考に教育内容の検討	・各コース修了者の経営分析及び提 案能力の向上 ・修了者の所属医療機関等における 経営意識の向上 ・アンケート結果を参考にした教育内 容の検討	・各コース修了者の経営分析及び提 案能力の向上 ・修了者の所属医療機関等における 経営意識の向上 ・アンケート結果を参考にした教育内 容の検討	・各コース修了者の経営分析及び提 案能力の向上 ・修了者の所属医療機関等における 経営意識の向上 ・アンケート結果を参考にした教育内 容の検討

### ③ 推進委員会所見に対する対応方針

要望事項	内容	対応方針
①	事業の実施に当たっては、学長、病院長等のリーダーシップの下、責任体制を明確にした上で全学的な実施体制で行うこと。また、事業期間終了後も各大学において、長期的な展望に基づく具体的な事業継続の方針・考え方について検討し、自立化した事業体制を構築すること。	本事業では、医学系研究科長を事業総括、副研究科長及び附属病院長を事業総括補佐とする事業推進委員会を立ち上げ、医学系研究科及び附属病院が連携して事業を運営することとしている。また、本事業の申請にあたっては、教育担当理事及び病院担当理事にも計画内容を説明しており、今後も適時取組状況について報告を行う予定である。事業期間終了後の取組の継続については、本事業では事業2年目から自己財源を投入する予定であり、財政面での自立を早期に進める計画としている。事業期間終了後も取組を継続できるよう、安定的な財源の確保に取り組んでいきたい。
②	自己点検・評価や外部評価を実施し、事業の改善を行いつつ、全国の模範となる体系的な教育プログラムを展開すること。その際、受講しやすい環境整備に配慮するとともに、修了者のキャリアパス形成につながる体制を構築すること。	本事業では、毎年度末に連携協議会を開催し、当該事業年度の事業内容の評価を行う計画である。また、多様な背景を持つ履修生が受講しやすい環境を整える目的で、履修期間の異なる3つのコース設定を行うこととしているが、履修生一人一人の背景を踏まえた履修ができるよう、配慮していきたい。教育コンテンツは経営的観点のみならず、DPC等の臨床指標の取扱いを盛り込むことにより履修生が臨床フィールドでのキャリアパスを形成できるよう配慮する。
③	事業の実施状況や成果等を可能な限り可視化した上で、地域や社会に対して分かりやすく情報発信するとともに、構築した教育プログラムの他大学・大学病院への普及に努めること。	本事業における取組については、大学内HPIにおいて情報を発信していくとともに、取組そのものや得られた成果については、e-learning教材や書籍等にまとめ、普及に取り組む計画である。

### ④ 推進委員会からの主なコメントに対する対応方針

推進委員会からの主なコメント(充実を要する点)	対応方針
病院経営支援という観点から、安全管理に関する科目の充実を図ることが望ましい。	カリキュラムの検討にあたっての柱となるコア概念の一つとして「リスクマネジメント」を置いており、この中で、安全管理に関する科目の充実を図ることとしている。
受講者の臨床専門分野におけるキャリアアップにも繋がるよう、臨床指標の解析研究手法を教育する計画になっているが、教育プログラムの諸科目との関係性が不明確である。	カリキュラム検討にあたっての柱となるコア概念の一つとして「戦略論」を置いており、この中で、DPCデータベースを用いた臨床指標分析について講義及び演習を行うこととしている。